

令和7年度 臨床研修スタート!



新年度が始まりました。2025年度、宮崎大学医学部附属病院では、医科26名・歯科1名の新人研修医をお迎えいたしました。4月1日から8日にかけてオリエンテーションを実施し、臨床倫理、医療安全、感染対策、症例プレゼンテーションやコンサルト技法、診療録の記載方法など、医師・歯科医師に求められる基本的な知識と態度を学びました。あわせて、基本的な手技の習得や復習を目的とした実習、救急蘇生講習なども行い、実際の医療現場で働くための心と体の準備を整えました。これからの2年間、附属病院を中心に、県内各地の多くの医療機関で研修をさせていただきます。これら若き医療人たちへの温かいご指導とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



宮崎県研修医合同基本手技実習が開催されました!

新研修医オリエンテーションにおいて、「宮崎県研修医合同基本手技実習」に参加しました。本実習は、宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会の主催により実施され、県内の基幹型臨床研修病院に所属する新研修医（医科60名+歯科1名、計61名）が一堂に会し、臨床現場で直ちに求められる基本的な医療手技を、シミュレーション形式で学ぶ機会となっています。新研修医61名は5つのグループに分かれ、「静脈採血」「静脈路確保」「筋肉注射／ルート作成／アンプルカット」「動脈採血」「縫合」の5ブースをローテーション形式で回りました。新たに技術を習得するというよりは、学生時代に学んだ知識や手技を再確認し、記憶を呼び起こす時間となったようです。参加者は皆、緊張感の中にも真剣な表情で実習に臨んでいました。今回は宮崎大学医学部での開催となったことから、本院の卒後臨床研修センターが全面的にバックアップを担当しました。同センターの教員をはじめ、一部の専攻医、そして4月1日時点で本院に在籍している宮崎大学および他の基幹型病院所属の2年次研修医が指導にあたりました。指導医の監督のもと、若手医師が後輩を指導する「縦のつながり」に加え、県内すべての新研修医が一堂に集まり実習を受けるという「施設を越えた横の連帯感」も醸成される、非常に貴重な機会となりました。



令和7年度 All Miyazaki 研修医スタートアップ・セミナー&ウェルカム・パーティー開催

2025年4月26日、シーガイアコンベンションセンターにて宮崎県内で新規採用の医科・歯科研修医(計62名)を対象に「All Miyazaki 研修医スタートアップ・セミナー&ウェルカム・パーティー」(主催:宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会)が開催されました。

宮崎県医師会からの説明会に続き、『2年間の臨床研修を充実させるための心構えとコツ』をメインテーマとし、8つのサブテーマで教育セッションが行われました(右表)。ウェルカム・パーティーでは、河野雅行宮崎県医師会会長、河野俊嗣宮崎県知事、鮫島浩宮崎大学長から祝贺メッセージをいただいた後、県内研修医代表として宮崎大学医学部附属病院の小玉侑季先生が研修医としての意気込みを力強く宣言しました。

県内研修医と指導医が一同に集まった本会は、「宮崎からはじめよう!」のキャッチフレーズに相応しく、もの凄い活気に溢れていました。

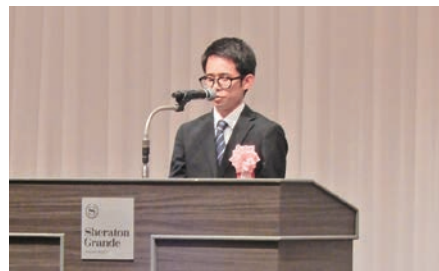
サブテーマ	プレゼンター	所属病院
1) イントロダクション	小松弘幸	運営協議会
2) “できレジ”を目指そう!	松浦良樹	古賀総合病院
3) 救急サバイバル	田中達也	宮崎大学
4) 地域医療研修の魅力	中村行人	県立延岡病院
5) 研修中の勉強法	早川 学	県立宮崎病院
6) 研修 Tips集	米良大雅	県立宮崎病院
7) 研究のススメ	酒井克也	宮崎大学
8) ストレスマネジメント	松田隆志	宮崎生協病院



スタートアップ・教育セッションの様子



祝賀会の様子



小玉侑季先生代表挨拶

令和7年度 1年次

学年リーダー研修医からのごあいさつ



小玉 侑季 先生

1年次研修医のリーダーとなりました小玉侑季です。宮崎市育ちで、宮崎大学医学部を卒業しました。お世話になった先生方や先輩方が多い宮崎大学医学部附属病院にて研修させていただくことになりました。指導医の先生方や先輩研修医からご指導いただき、少しずつ成長していけるように頑張ります。分からないことばかりですが、「明るく楽しく元氣よく」をモットーに、同期みんなで励まし合いながら、2年間頑張ります。よろしくお願いします。



宮田 夏月 先生

この度、1年次 リーダーを務めさせていただくことになりました宮田夏月と申します。宮崎市出身であり、宮崎大学出身です。お世話になった先生方や先輩方と共に働けることを嬉しく、そして心強く思っております。研修も始まったばかりで分からないことだらけの毎日ではありますが、ご指導ご鞭撻のもと、日々少しずつ成長できるようにがんばります。至らぬ点も多いかと存じますが、今後ともよろしくお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院臨床研修プログラム説明会 & 研修医との何でも相談・懇親会を開催

2025年2月17日、卒後臨床研修センターの企画として、「宮崎大学医学部附属病院 臨床研修プログラム説明会&研修医との何でも相談・懇親会」を開催しました。

本学の卒後研修プログラムについては、他大学の学生には比較的多く情報発信の場が設けられていますが、意外にも、本学の医学科生、特に臨床実習が始まる前の学年に対する情報提供の機会は限られているのが現状です。そこで昨年、コロナ禍の収束が見え始めた時期に初めて説明会を開催し、今年もその趣旨を引き継ぎ、同様の形式で実施しました。会場は卒後臨床研修センターのセミナー室で、17時から開始。事前に申し込んだ学生21名は全員参加し、有志の研修医6名、センター教員6名も加わって、会場は満席となりました。用意した軽食と飲み物も参加者全員に行き渡りました。はじめに、宮内卒後副センター長より宮崎大学臨床研修プログラムの概要が10分ほどで紹介され、全体で共通の理解を深めました。その後は、教員・研修医・学生がテーブルごとに分かれて座り、自由に懇談・相談できるグループ形式の交流を行いました。若手医師の言葉のほうが学生により“刺さる”と考えたためです。約30分のグループ懇談では、研修医によるリアルな体験談や、学生からの率直な質問や相談が飛び交い、非常に活発で印象的なひとときとなりました。

あっという間の60分でしたが、参加した学生たちにとって、自らの将来を考える良いきっかけになったのではないかと思いますし、そうであってほしいと願っています。



令和6年度卒後臨床研修センター修了式



令和7年3月25日に卒後臨床研修センター修了式を執り行いました。医科研修医25名、歯科研修医1名が研修を修了しました。修了式は、賀本病院長、小松卒後臨床研修センター長、金氏歯科研修プログラム責任者から修了者への挨拶のあと、修了証書が授与されました。併せて、ベスト指導医賞とベスト研修医賞の表彰も行い、選出された先生方へ賞状と楯が授与されました。非常にまとまりのある素晴らしい先生方ばかりでした。これからの専門研修での先生方のご活躍を心より期待しています。

ベスト研修医賞



瀬ノ口 敬斗 先生

この度はこのような光栄な賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。まさか自分が選ばれるとは考えておらず、とても驚きました。二年間宮崎大学病院の研修医として働かせていただき、各診療科や関連病院で熱心にご指導いただきました。また二年間で3回の学会発表をさせていただき、専門医を目指す上で大きな経験となりました。ご指導いただいた各先生方、卒後臨床研修センターの方々、二年間本当にありがとうございました。(4月から呼吸器内科専攻医)



益山 典子 先生

この度はこのような賞をいただき誠にありがとうございます。県外大学出身で右も左もわからない状況で始まった初期研修ですが、温かい同期やご指導いただいた先生方、スタッフの方々のおかげで2年間充実した研修を送ることができました。4月からは専攻医として今までよりいっそう責任も技量も求められることとなり不安もありますが、今まで教えていただいたことを無駄にせず、これからも精進します。ありがとうございました。



栗原 淳 先生

この度はこのような賞をいただき光栄に思います。私は2年間で北は五ヶ瀬町から南は都城市まで、県内の様々な地域、医療機関で研修させていただきました。自分の力不足を感じる場面も多々ありましたが、多くの先生方やスタッフの方々からご指導いただき、研修を終えることができました。心より感謝申し上げます。より一層宮崎に貢献できるよう、今後とも日々精進して参ります。

令和6年度修了生が選ぶ ベスト指導医賞

1位

力武 雄幹 先生

宮崎大学医学部附属病院
感染症内科

2位

福井 喜朗 先生

宮崎市立田野病院
内科(地域医療)

3位

早川 学 先生

宮崎県立宮崎病院
総合診療科

4位

白尾 英仁 先生

宮崎市医師会病院
救急科

4位

荒川 英樹 先生

宮崎大学医学部附属病院
リハビリテーション科



感染症内科
力武 雄幹 先生

先生方、この度は研修修了誠にありがとうございます。カルテの使い方を覚えるところから始まった先生方が、この2年間で頼もしく成長されたことを大変うれしく思います。先生方それぞれに素晴らしい点があり、一緒に診療をする中で学ばせて頂いたことも多かったです。私がお伝えした事が、先生方の医者人生のうちのどこかでお役に立てば本当にうれしいです。皆様の益々の御活躍をお祈りしております。ありがとうございました。



県立宮崎病院
早川 学 先生

県立宮崎病院・総合診療科では、“限られた時間の中で、いかに効率よく成長していくか”というテーマを、病棟・外来診療を徹底的に行う中で共有させて頂いています。今回それが評価され、ベスト指導医賞を頂いたことを大変光栄に感じています。我々は引き続き「困った時には県宮総診」という存在になれるよう活動を継続していきますので、今後ともよろしくお願い致します!



リハビリテーション科
荒川 英樹 先生

このたびは荣誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。皆さんと診療を共にし、成長の一助となれたことを大変嬉しく思います。リハビリテーション科では多職種連携のなかで、少しリラックスした時間も過ごせたのではないのでしょうか。皆さんの道は決して楽しいことばかりではなく、辛いこともたくさんあると思います。それでも、自分を信じ、誠実に、自分らしく歩んでください。これからも皆さんの活躍を応援しています。

宮崎大学医師臨床研修修了後の進路状況

修了者	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
宮崎大学・大学院	19	29	25	21	12	29	24	27	28	23	28	21	22	22	26	12	18
宮崎県内病院	2	1	0	1	1	2	2	3	0	0	2	0	6	2	0	0	1
県外大学・病院等	5	6	9	3	9	9	7	2	4	4	8	8	4	2	6	2	6
合計	26	36	34	25	22	40	33	32	32	27	38	29	32	26	32	14	25

日本内科学会「ことはじめ2025」発表報告

4月19日に開催された、「医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2025大阪」に参加してまいりました！当宮崎大学からは、2年次研修医4名の先生が発表を行いました。

- ・古賀啓斗先生「結腸重積の責任病変となった大きな若年性ポリープを内視鏡的に切除し得た一例」
- ・首藤皐月先生「SMARCA4欠損胸部腫瘍の二例」
- ・本田萌佳先生「集学的治療により透析を回避し得た高齢の抗糸球体基底膜抗体(GBM)型腎炎の一例」
- ・根井健心先生「冠攣縮の制御により可逆性を示した僧帽弁閉鎖不全症の一例」

今年は480演題とコロナ禍以前を凌ぐ過去最多の演題登録数で、万博が開催されていることも相まって非常に大きな盛り上がりを見せていました。「チーム宮大」は例年通り前日に予演会を行い本番に臨み、どの先生方もとても研修医とは思えない、非常に堂々とした発表で、日々の研修の充実を伺い知ることができました。また、今年度は根井健心先生が見事優秀演題賞を獲得されました。センター内科教員はもちろん、各診療科の先生方の手厚いご指導の下、毎年多くの研修医が発表を経験できていることに感謝申し上げます。



古賀先生



首藤先生



本田先生



根井先生



指導頂いた先生方と記念撮影

研修医が学会発表で優秀賞を受賞しました！

- 受賞者** 2年次研修医 森 夢実
- 学会名** 第137回日本循環器学会九州地方会(2024年12月14日開催)
- 賞名** 第137回日本循環器学会九州地方会研修医セッション 優秀賞
- 演題** 血管周囲に限局的なアミロイド沈着を認め、冠微小循環障害を呈したATTR型心アミロイドーシスの一例
- 指導診療科** 循環器内科

受賞コメント この度はこのような素晴らしい賞を賜り、大変光栄に思います。直接ご指導頂いた水光先生を始めとし、循環器内科の先生方、病理学講座の先生方、関わって頂いた皆様により御礼申し上げます。学会発表を通して、疾患に対する理解が深まり、多くの先生方とお話できて、研究の重要性も実感できました。自身の成長につながる貴重な機会を与えて頂き誠にありがとうございました。

指導医からのコメント 循環器内科 水光 洋輔 先生

今回森先生は初めての学会発表でしたが、それを感じさせないほど堂々とした発表でした。12月開催の学会で研修医2年目の先生方に交じっての発表でしたが、1年目ながらみごと優秀賞を受賞され、快挙だと感じています。特に質疑応答については、想定外の質問もありましたが、自信を持って答えている姿が非常に印象的でした。メンターという一番近い立場で、発表の準備から素晴らしい発表に立ち会えたことを光栄に感じます。今後も活躍を期待しています。



宮崎大学医学部附属病院 特別教育セミナー開催

2025年3月24日、医学教育の分野で国内外でも大変著名なハワイ大学医学部外科教授の町淳二先生をお迎えして、本院卒後臨床研修センターと病院職員教育推進委員会による特別教育セミナーを合同開催しました。

PartⅠは病院職員の皆様を対象に、「**With Corona & Beyond : 未来の世界未来の医療を考えよう!創ろう!**」のテーマで講演いただきました。世界レベルでの医療の現状と諸問題、医療におけるICTやAI等のテクノロジー発展の中で、私たちがどのように未来を見据え、夢を持って医療を行っていくか、途中では宇宙医療まで到達する壮大な内容でした。PartⅡは研修医・医学生・指導医を対象とした「**急性腹症症例を通して医師の6つの能力を学ぼう!**」のテーマで米国式実践レクチャーをしていただきました。町先生と研修医・医学生によるproblem-based conferenceでは、実際の患者さんをリアルタイムで診ているかのような臨場感があり、指導医にとっても実践的教育手法を学ぶ大変有意義な機会でした。

PartⅠでは約120名、PartⅡでは約20名の参加があり、どちらも大盛況でした。



「なんでも掲示板」 原稿募集!

宮崎都市伝説、失敗リカバリー談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先

宮崎大学医学部 医療人育成課 卒後臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp



病院見学